

日本よ、永遠であれ。我々は、永遠の時の流れにあつて、祖先から受け継いできた日本國と日本民族の歴史と傳統、そして文化を次世代に引き継ぐ責務を負つてゐる。有史以來、國內における争ひや天災だけでなく、外國からの干渉や襲來を乗り越えて、我々の祖先が日本を守り抜いてきたことを決して忘れてはならない。現代の日本に生きる我々の使命は、世界文明の大轉換期にあつて、日本の獨立と繁榮を守り、我々の子供や孫、まだ生まれぬ將來世代に對し、誇るべき日本を確實に引き継ぐとともに、世界の平和と人類社會の進歩に貢献していくことにある。

他方で今、我々は、日本の將來に強い危機感を抱いてゐる。國際的な大競争時代の下、國內では急速な少子高齢化が進展し、日本の国力は多くの分野で停滞・弱體化すると同時に、過疎化により地方の活力も衰へてきた。また、自分自身や自國に誇りを持つことを許さない教育、長引く不況や労働市場の硬直化等の結果、將來に希望を持ってない若者が急増してゐる。

これらの根本原因は、國家にとつて重要な課題であればあるほど決斷できない政府の意思決定の仕組み、すなわち憲法そのものにある。その結果、投票權を持たない將來世代にあらゆる負擔と弊害が先送りされてきた。憲法上、國防に關する規定が置かれなかつたことにより、國家の自立が損なはれただけではない。個人の自由には責任が伴ふことが忘れ去られ、無秩序な社會が出現した。家族や地域の絆が斷ち切られたことにより、政府への依存を助長し、個人の自立が損なはれた。

我々は、「自立」「新保守」「次世代」の理念の下、國民の手による新しい憲法、すなはち自主憲法を創り上げる。

### 【自立】

次世代の黨は、「自立した國家」「自立した地方」「自立した個人」を実現する。福澤諭吉のいふ「一身獨立して一國獨立す」の精神は、今こそ全國民が想起すべきである。戦後の高度成長に酔ひ癡れ、會

社や政府に依存する「甘への構造」とは訣別しなければならぬ。中央集権・官僚支配體制とその規制に守られた既得權益を打破するとともに、衆智を集める「賢く強い政府」を実現することにより、個人が將來に希望を持てる社會システムを構築する。

### 【新保守】

次世代の黨は、世界最古の皇室を戴く「一國一文明」とされる日本の傳統的價值や文化に立脚し、國家と個人をつなぐ社會の最小單位としての家族や地域の「絆」の再構築を支援する。世界情勢の變化にも柔軟かつ強かに對應する「溫故創新」を旨とし、個人の自由と社會の秩序を調和させることを通じて、規律ある自由な社會を創る「新しい保守」の理念を實踐する。他方、リベリズムの衣を纏った社會主義思想は排除し、闘ふ保守を貫く。

### 【次世代】

次世代の黨は、我々の子供や孫、まだ生まれぬ將來世代の視點に立つて、戦後半世紀以上にわたつて放置されてきた根本問題に眞正面から取り組む。醫療・年金等、社會保障制度の抜本改革は、世代間格差の是正のためにも喫緊の課題である。また、明治以來の大福帳方式（現金主義・單式簿記）を温存した財政制度を發生主義・複式簿記化することによつて、合理的かつ戦略的な國家經營を實現する。

次世代の黨は、次世代のための新保守政黨であり、その基本政策は以下の通りである。

- 一、國民の手による新しい憲法（自主憲法）の制定
- 二、自立した外交及び防衛力強化による安全保障體制の確立、集團的自衛權に關する憲法解釋の適正化、全ての拉致被害者の早期救出
- 三、財政制度の發生主義・複式簿記化による「賢く強い國家經營」への轉換
- 四、世代間格差を是正する社會保障制度の抜本改革、徹底的な少子

## 化對策

- 五、 既得権益の打破（規制改革）による成長戦略と「賢く強い政府」の實現
- 六、 安全かつ安定的なエネルギー政策（新エネルギーの開発・原子力技術の維持）、電源多様化による脱原発依存
- 七、 正しい國家觀と歴史觀を持つ「賢く強い日本人」を育てる教育
- 八、 地方の自立、「自治・分権」による日本型州制度の導入